

2026年3月期

決算補足説明資料

証券コード 2335

2026年5月7日



エグゼクティブサマリ（2026年3月期）

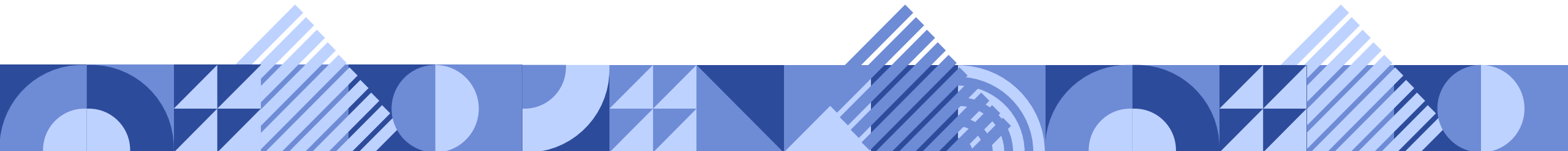
- **事業環境**：DX推進やクラウド移行に対するシステム構築需要は高く、IT投資は拡大。当社はソリューション開発および生産体制強化を推進しつつ、プロジェクト体制構築における課題への対応を実施。
- **売上高**：Sier向け事業は微増、プライム向け事業は減少、サービス提供事業は増加。高難度プロジェクトの体制構築に注力したことで、受注が想定ほど伸びず、全体では前年並み。
- **営業利益**：一部の高難度プロジェクトにおいて不採算案件があったものの、プライム向け事業での収益性改善により増益。

2026年3月期 実績

売上高 184.9億円	営業利益 15.5億円	親会社株主に帰属する 当期純利益 15.6億円	ROE 14.0%
-----------------------	-----------------------	--------------------------------------	---------------------



CONTENTS

- 1 2026年3月期 決算概況
 - 2 2027年3月期 業績見通し
 - 3 卷末資料
- 

1

2026年3月期

決算概況

- 1 連結損益計算書概要
- 2 会計期間推移
- 3 営業利益の増減要因
- 4 ビジネスモデル別 売上高推移
- 5 業種別 売上高推移
- 6 事業スタイル別 売上高推移
- 7 1人当たり指標
- 8 自己資本およびROEの推移
- 9 株主数および時価総額の推移
- 10 通期実績（事業スタイル／重点施策）



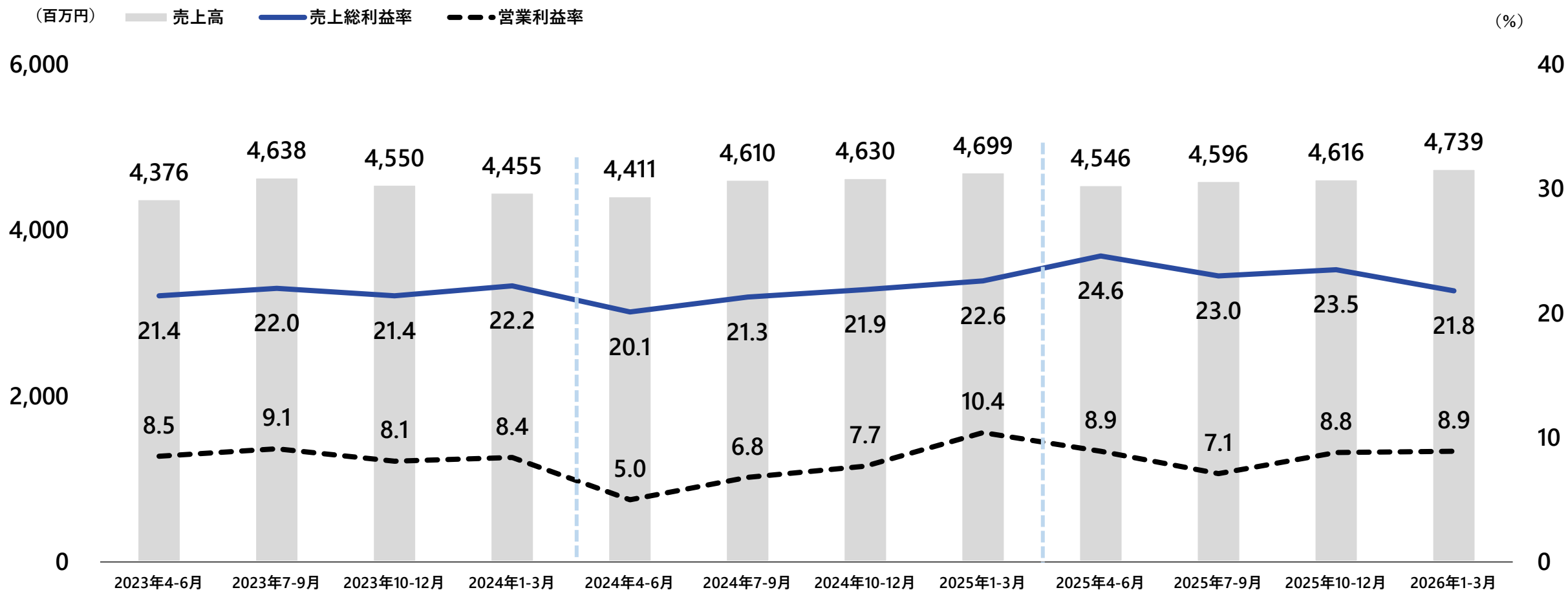
1-1 | 連結損益計算書概要

- 事業環境 : DX需要や基幹システムのクラウド移行、AI活用のニーズに加え、サイバーセキュリティ対策を背景に、IT投資は引き続き拡大傾向。当社はソリューション開発および生産体制の拡充を推進するとともに、プロジェクト体制構築に関する課題への対応を実施。
- 売上高 : Sier向け事業は微増、プライム向け事業は減少、サービス提供事業は増加。高難度プロジェクトに対応するための体制構築に注力した影響で、受注が想定ほど伸びず、全体では前年並みで推移。
- 営業利益 : 一部の高難度プロジェクトにおいて不採算案件があったものの、プライム向け事業およびその他のSier向け事業での収益性向上により増益。
- 当期純利益 : 投資有価証券売却益を計上したことにより増益。

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比	(参考) 通期予想に対する 達成率
売上高	18,351	18,498	+0.8%	94.9%
営業利益	1,380	1,558	+12.9%	89.1%
同利益率	7.5%	8.4%		
経常利益	1,393	1,581	+13.5%	89.9%
同利益率	7.6%	8.5%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,261	1,564	+24.0%	128.2%
同利益率	6.9%	8.5%		

1-2 | 会計期間推移

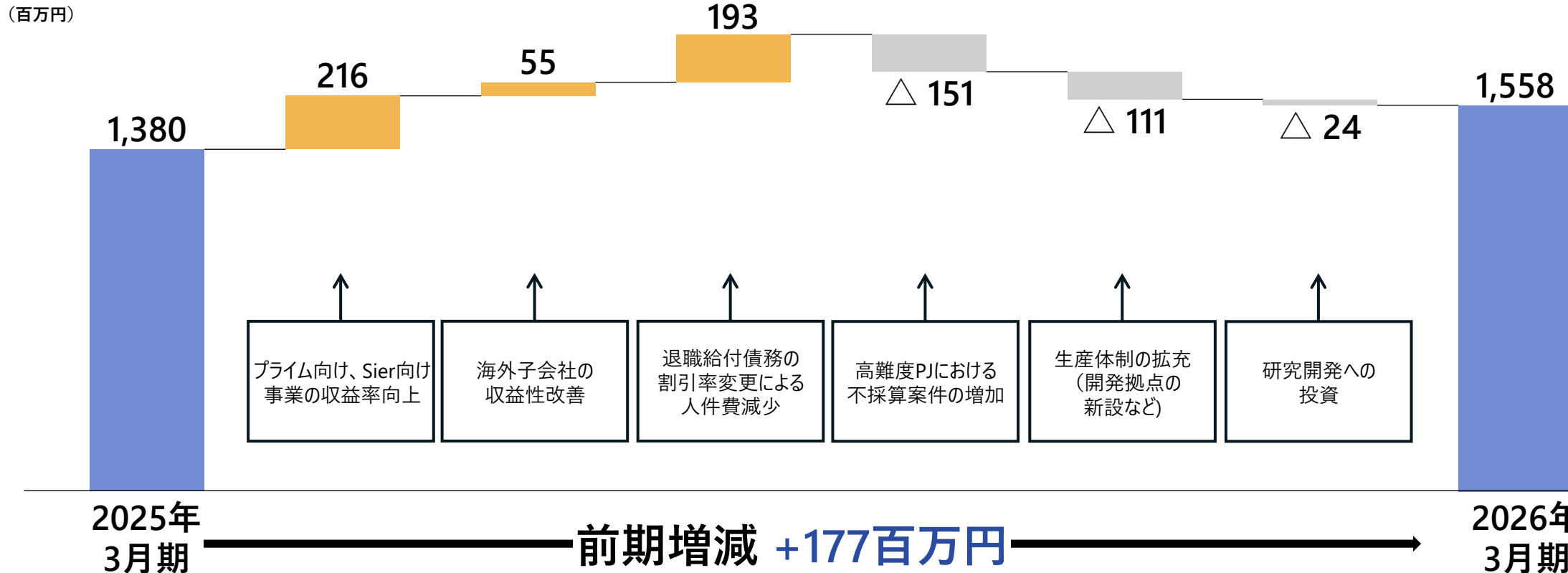
■ 前四半期比で売上高は123百万円増加、営業利益率は堅調に推移



1-3 | 営業利益の増減要因

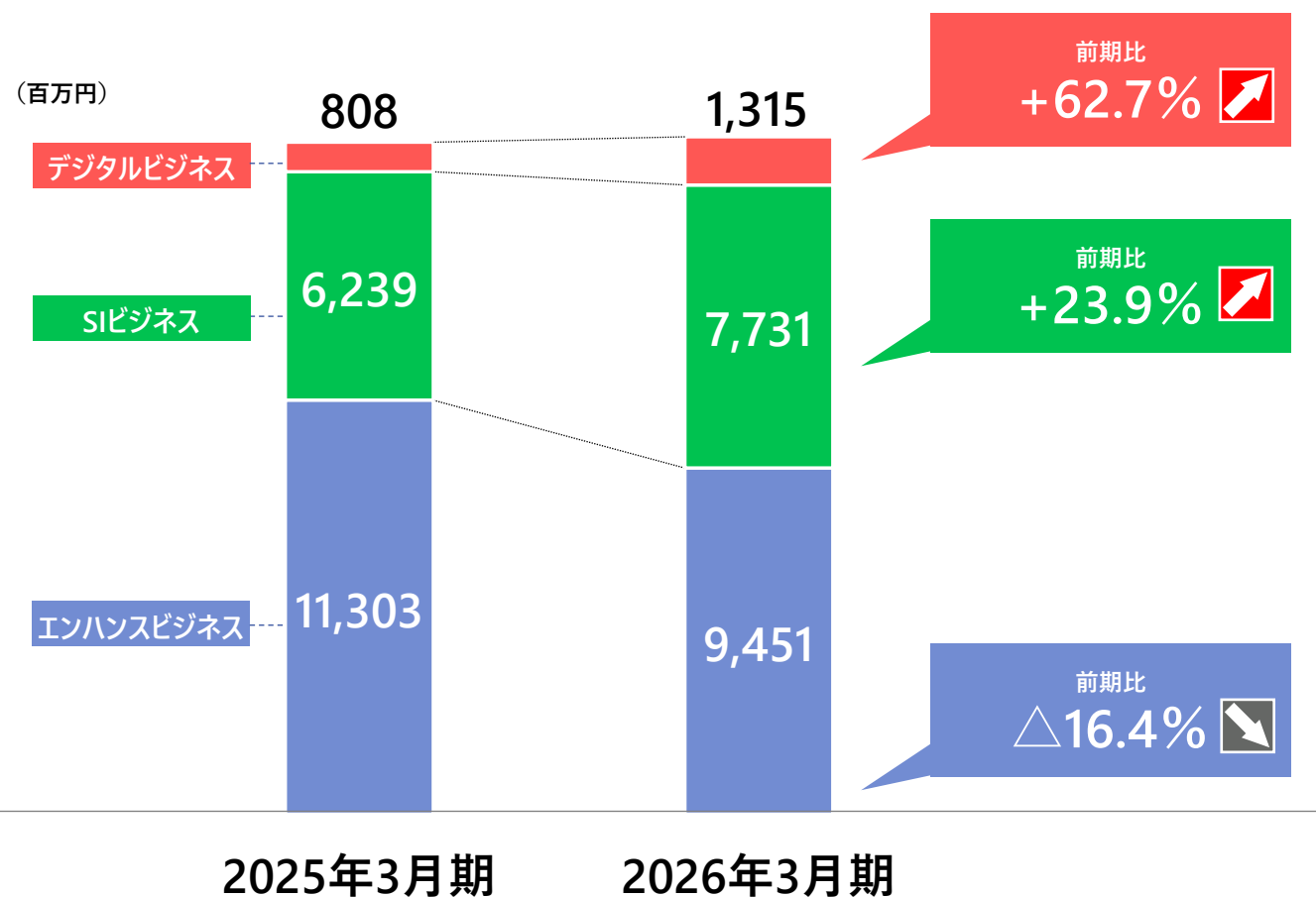
■ 増益要因 : プライム向け事業のデジタル領域およびSier向け事業のSIビジネス領域における収益率向上、海外子会社の収益性改善、退職給付債務の割引率変更による人件費減少

■ 減益要因 : 一部高難度プロジェクトにおける体制構築および品質確保の対応により不採算案件が増加、開発拠点（品川イノベーションハブ）の新設による生産体制の拡充、新規事業創発・新技術の社内展開を目的とした研究開発への投資



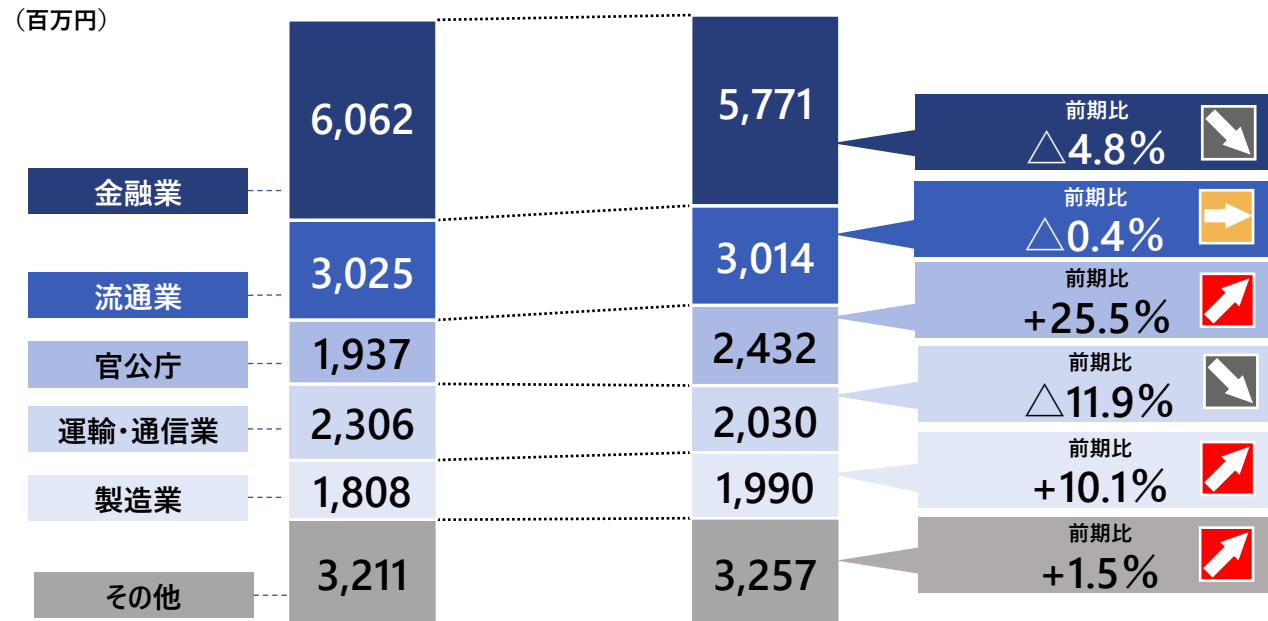
1-4 | ビジネスモデル別 売上高推移

- デジタルビジネス : コンサルティングやAI等の先進技術に関する案件が順調に拡大
- SIビジネス : モダナイゼーション案件の拡大による増加
- エンハンスビジネス : 一部不採算案件の影響およびデジタル・SIビジネス領域へシフトしたことによる減少



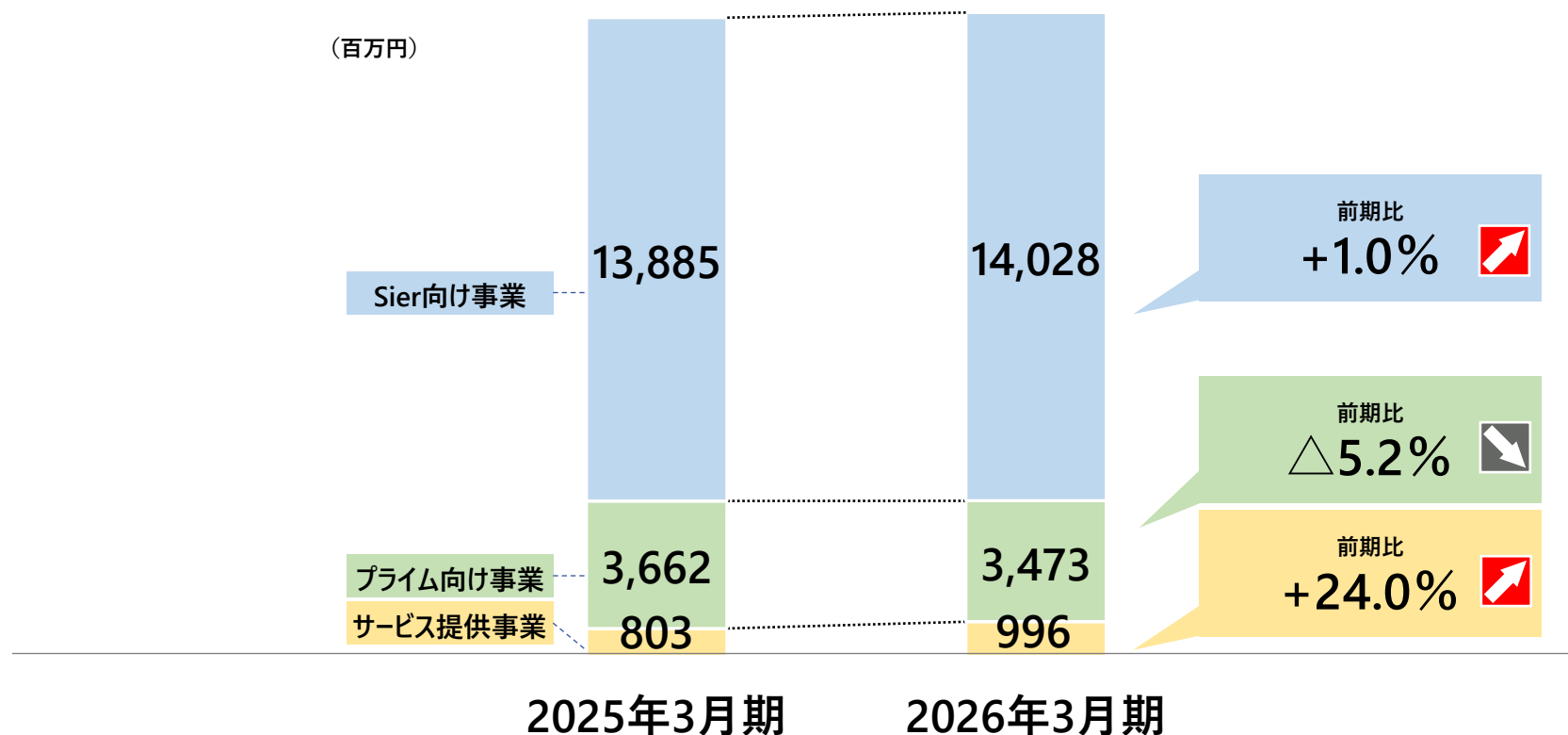
1-5 | 業種別 売上高推移

- 金融業 : メガバンク向け案件の減少や低収益案件の撤退、および不採算案件の発生に伴う減少
- 流通業 : 総合スーパー向け案件で拡大するも、一部大型案件の規模縮小により微減
- 官公庁 : 中央省庁向けや行政機関向け案件が大幅に増加
- 運輸・通信業 : 物流会社向け案件および通信キャリア向け案件が減少
- 製造業 : 自動車メーカー向け案件や醸造会社向け案件が拡大し増加
- その他業種 : エネルギー関連会社や教育関連会社向け案件が増加



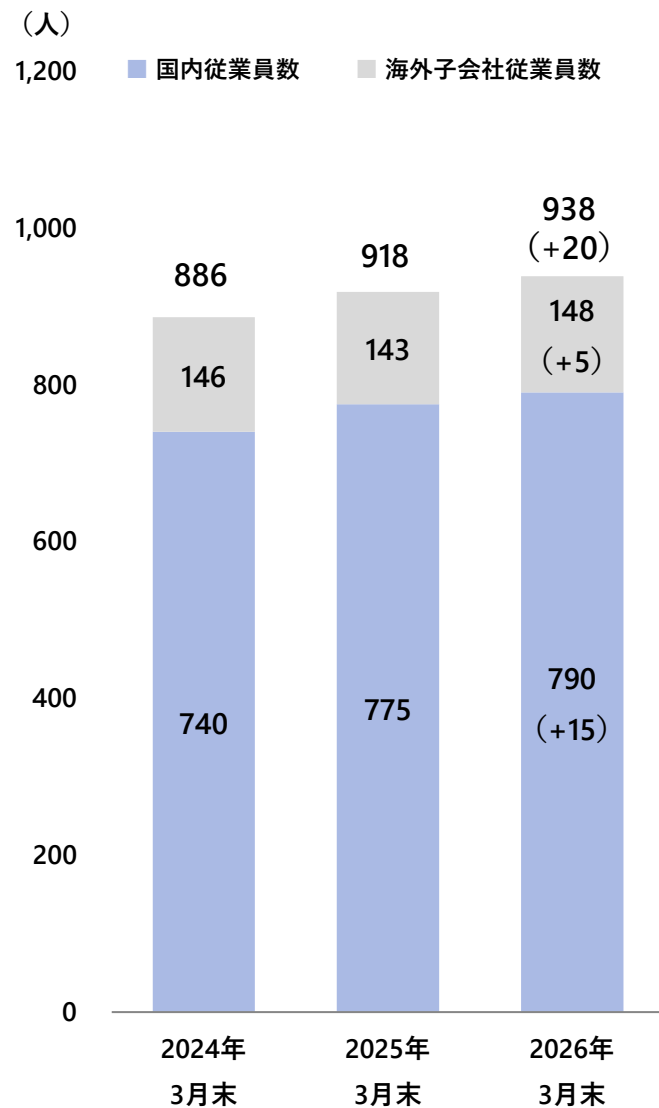
1-6 | 事業スタイル別 売上高推移

- Sier向け事業 : 主要顧客は拡大基調だが、個社案件の縮小により横ばい
- プライム向け事業 : 既存の流通顧客の派生開発は拡大しているものの、その他案件の終了により減少
- サービス提供事業 : クラウド技術を活用したサービスの受注拡大による増加

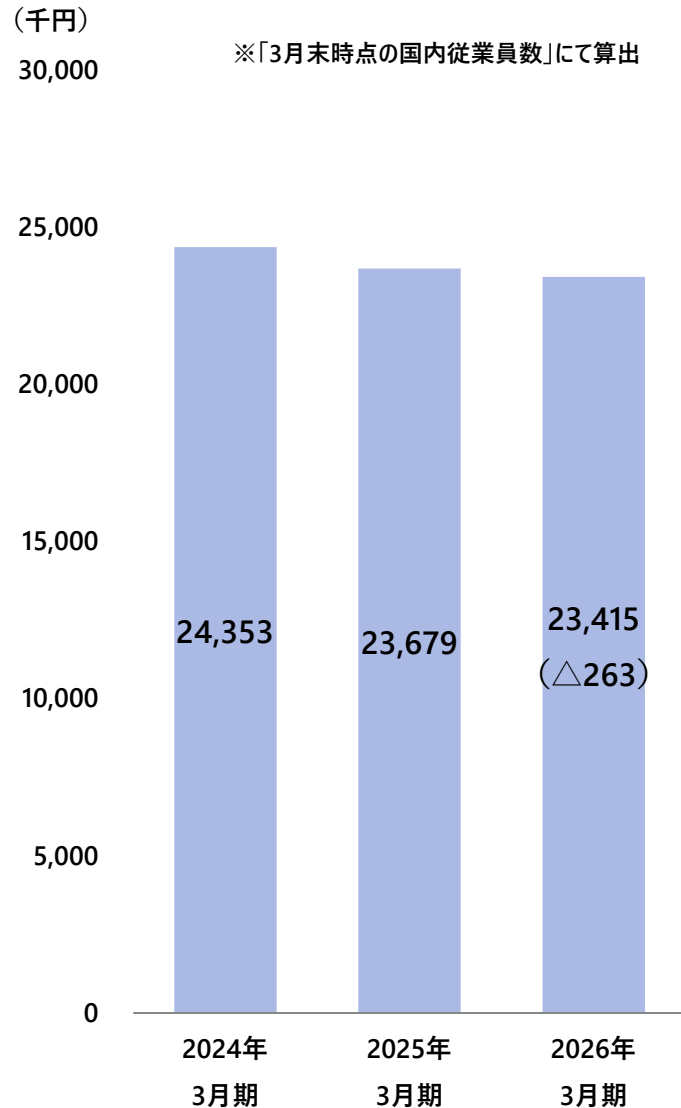


1-7 | 1人あたり指標

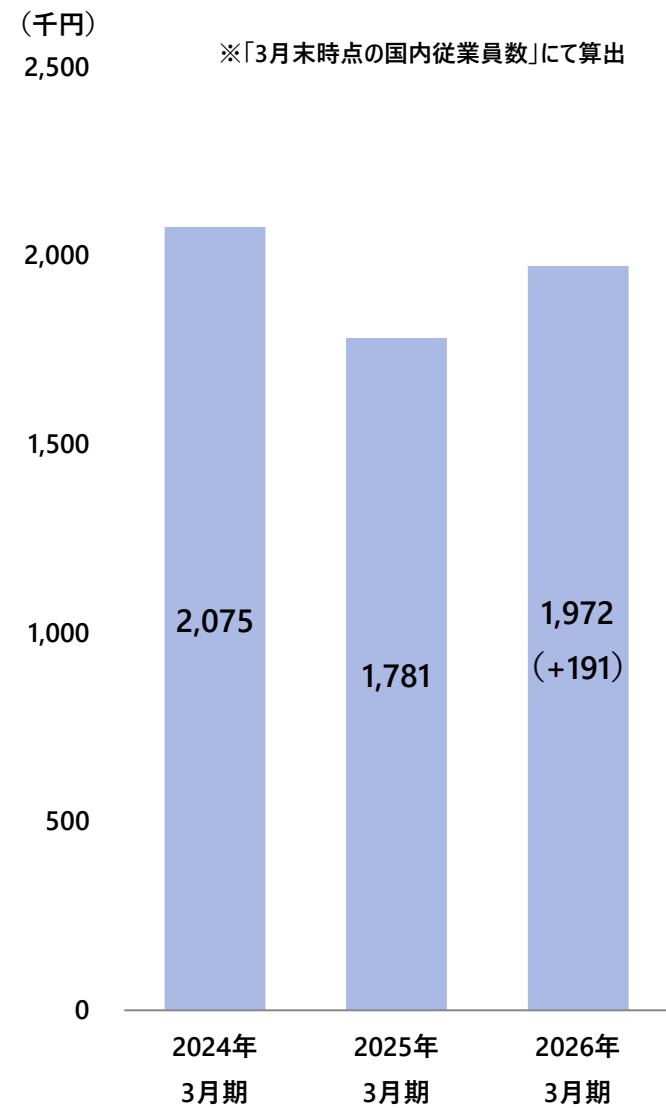
従業員数



1人あたり売上高*

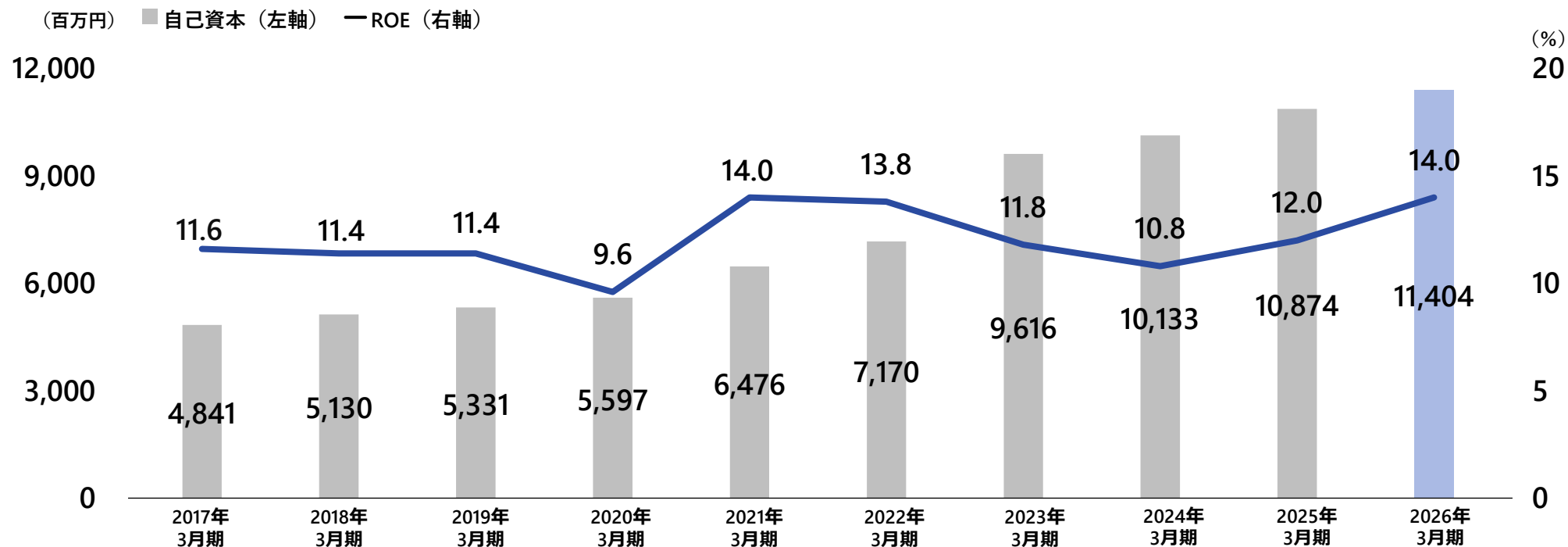


1人あたり営業利益*



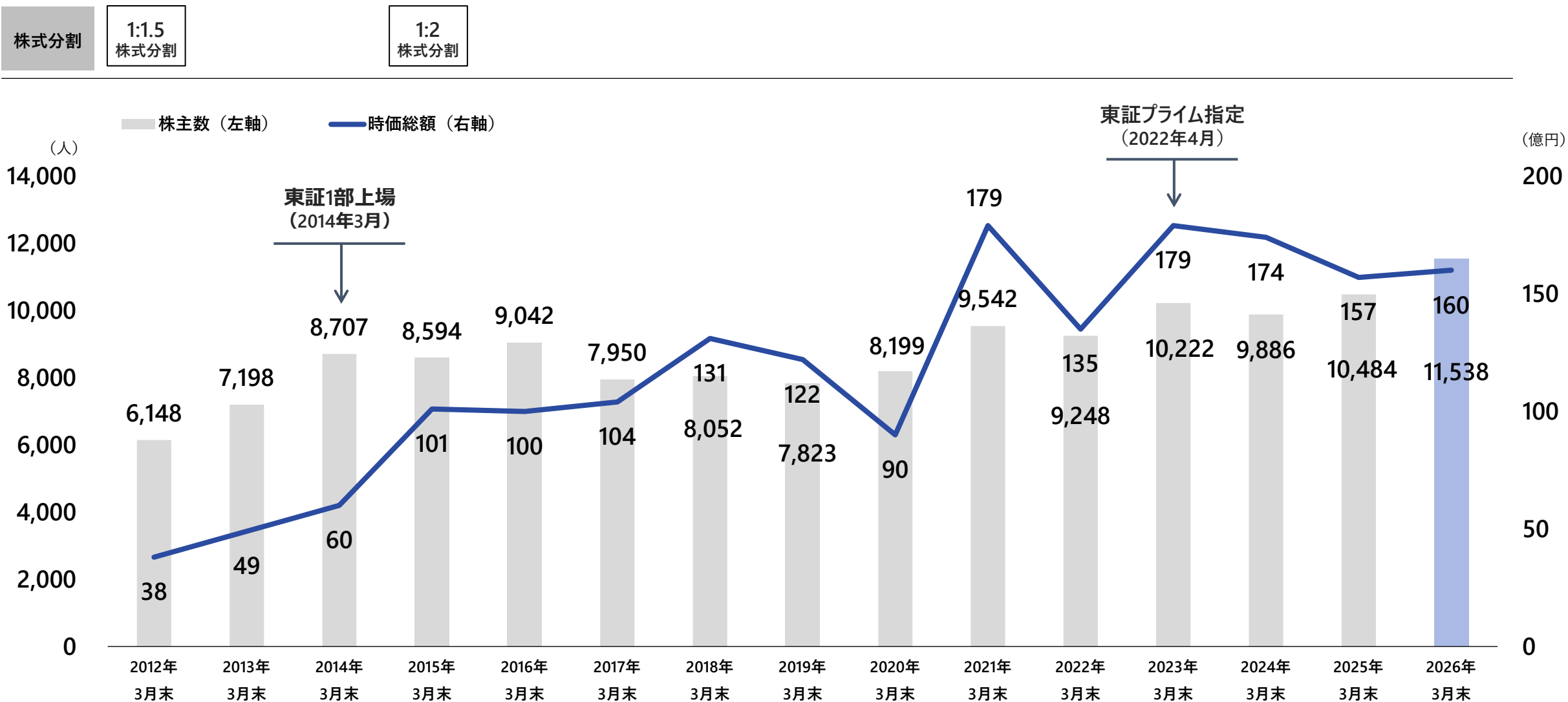
1 - 8 | 自己資本およびROEの推移

資本効率および利益率の向上を図っていくことで、
ROE14%以上を継続的な目標としております。



※自己資本は3月末時点の数字となります

1-9 | 株主数および時価総額の推移



Sier向け

安定的な収益拡大と ワンストップサービスの実現

モダナイゼーション案件は 計画通りに成長

Sierとの協業関係推進により、モダナイリフト案件※は当初予定通り順調に推移。

※ モダナイゼーションリフト案件。既存システムやアプリケーションを最新の技術へと再構築するもの。

ワンストップサービスの 確立に向け対応を推進

システムの上流から下流まで一括してソリューションを請け負うワンストップサービスの確立に向け、ビジネスモデル変革を着実に推進。引き続き取り組みを強化。

プライム向け

新規顧客の開拓と 売上規模の拡大

新規顧客開拓に向けた 営業活動強化を継続

提案・営業力の強化を進め、新規顧客の開拓を推進したものの、新規顧客数は想定を下回る。今後はコンサル分野にも対応領域を広げ、営業基盤の拡充を推進。

既存領域での規模の拡大と 収益性向上

既存顧客への付加価値提案を通じた案件拡大に加え、生産性向上により収益性は大きく伸長。

サービス提供

ソリューションベンダーとの 共創によるビジネス創出

高スキル人材を生かした Sier協業が進展

ベンダー企業との協業促進によって培ったノウハウを生かし、高スキル・高収益案件を獲得。新規協業先の開拓も順調に進展。

市場変化への対応を継続

OCVS※の導入・運用ノウハウに加え、クラウド市場のトレンドであるシステム移行需要やマルチクラウド化に対応したソリューションサービスを提供。

※Oracle Cloud VMware Solution

研究投資

研究フェーズから事業化に向けて加速

H・CUBiC※の性能向上を実施

顧客部署へ導入し、2026年4月から本格サービス開始。

※ 人的資本経営を支援するH・CUBiCサービス構想

新規ソリューション開発の推進

AI自動発注関連ソリューションは順調に進捗。2026年5月にサービス開始。

人的資本

育成は充実、リテンション対策を強化

自律的な学びへの転換と支援強化

人材ポートフォリオに沿った研修時期・コンテンツの見直しにより、学びの質向上に成果。

新卒採用は成果も、リテンション対策の強化が必要

新卒社員は2025年度70名、2026年度61名と継続的に採用。人材の流動性の高まりから、離職率低減や社員の意欲や成長を後押しするリテンション施策を強化予定。

品質の強化

開発体制・リスクマネジメントの強化に課題

リスク評価の仕組み化によるプロセス改善

2024年度以降、QMSやCS改善活動の強化を通じて、リスク評価のプロセス改善を実施。

高難度案件における開発体制に課題

高難度の案件において、リスク検知・予防プロセスに基づく対応を進めているが、さらなる体制整備が必要。中長期的な品質向上を見据えて、追加施策を講じる。

生産体制

環境整備は順調、生産性向上の実用化

400名規模の開発拠点を開所

2025年9月にイノベーションを促進する環境を実現するため開発拠点「品川イノベーションハブ」を開所。

AIを活用した生産技術革新

システム開発におけるAI利用の標準化に向け、コード生成AIを社内業務の改善で検証中。

2

2027年3月期

業績見通し

- 1 業績見通しの概要
- 2 事業スタイル別 売上高見通し
- 3 受注高・受注残高
- 4 配当金および配当性向の推移



2 - 1 | 業績見通しの概要

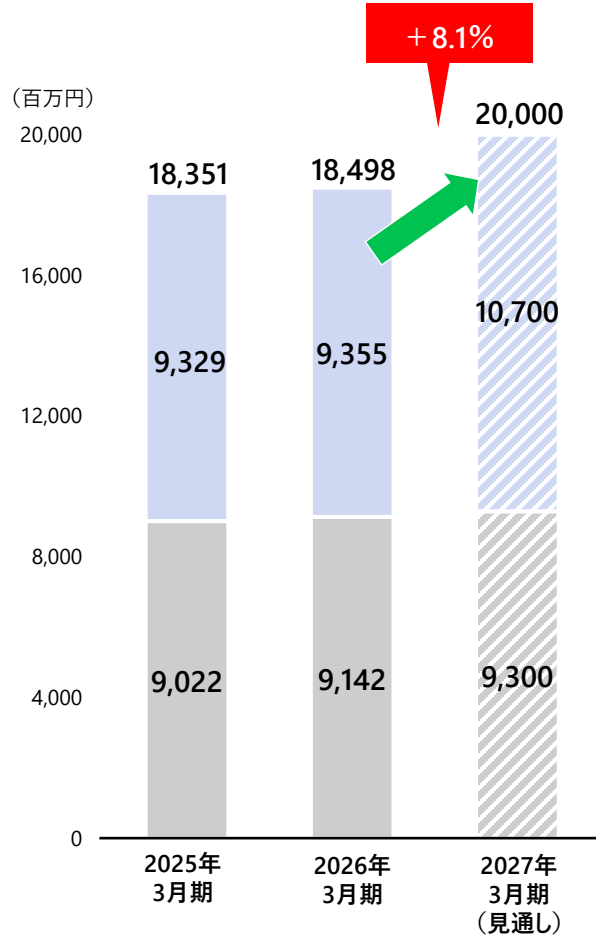
- 事業環境 : IT投資需要は、引き続き堅調に推移すると見込まれる。一方で、システムの内製化トレンドや、サイバーセキュリティ対策への需要の高まりを背景に、IT技術者に求められるスキルは一段と高度化。
- 売上高 : Sierとの協業推進やクラウドベンダーとの連携強化を通じて、社員の能力開発に努め、案件規模の拡大および新規獲得に取り組む。
システムコンサルティング室を新設し、プライム向け事業の更なる拡大を図る。加えて、ビジネス拡大に向けて当社発ソリューションの事業化を推進。
- 営業利益 : 品質改善施策に加え、新設した生産技術本部 AI推進室の主導でビジネス変革と生産性を高め、収益率を向上。
- 当期純利益 : 投資有価証券売却益の縮小を見込み、反動減。

(百万円)	2027年3月期 業績見通し	2026年3月期 実績	前期増減	前期増減率
売上高	20,000	18,498	+1,501	+8.1%
営業利益	1,800	1,558	+241	+15.5%
同利益率	9.0%	8.4%		
経常利益	1,810	1,581	+228	+14.4%
同利益率	9.1%	8.5%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	1,564	△64	△4.1%
同利益率	7.5%	8.5%		

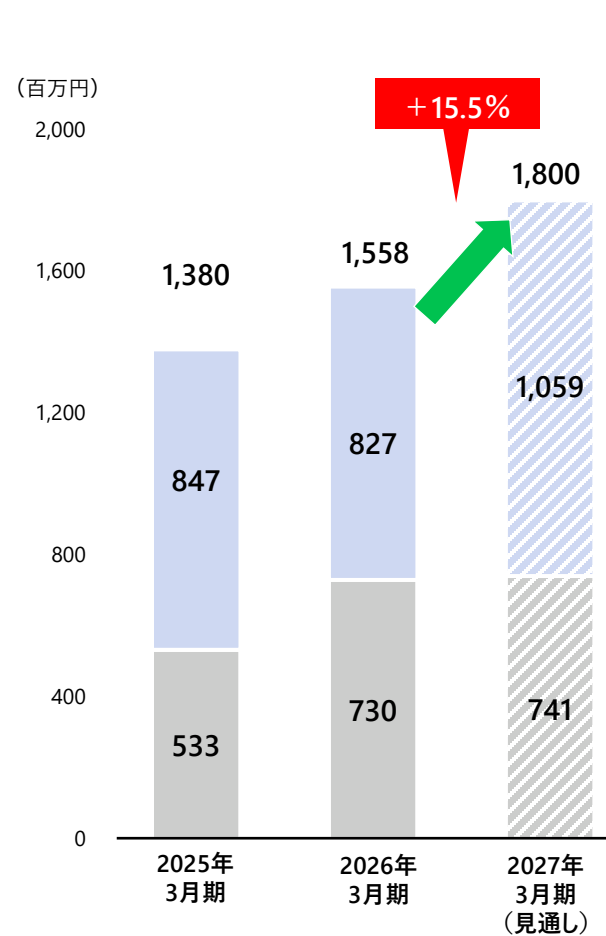
2-1 | 業績見通しの概要

■ 上期 ■ 下期

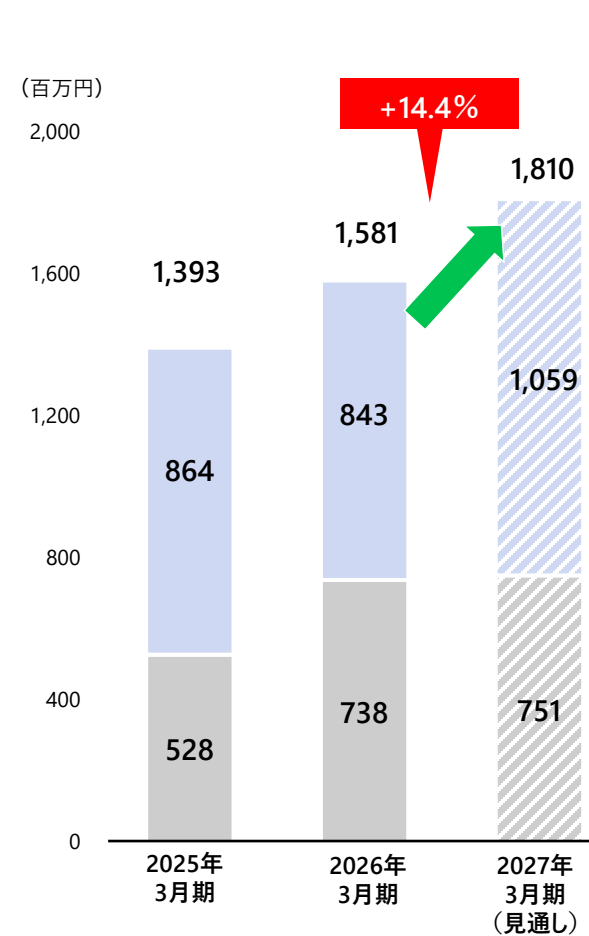
売上高推移



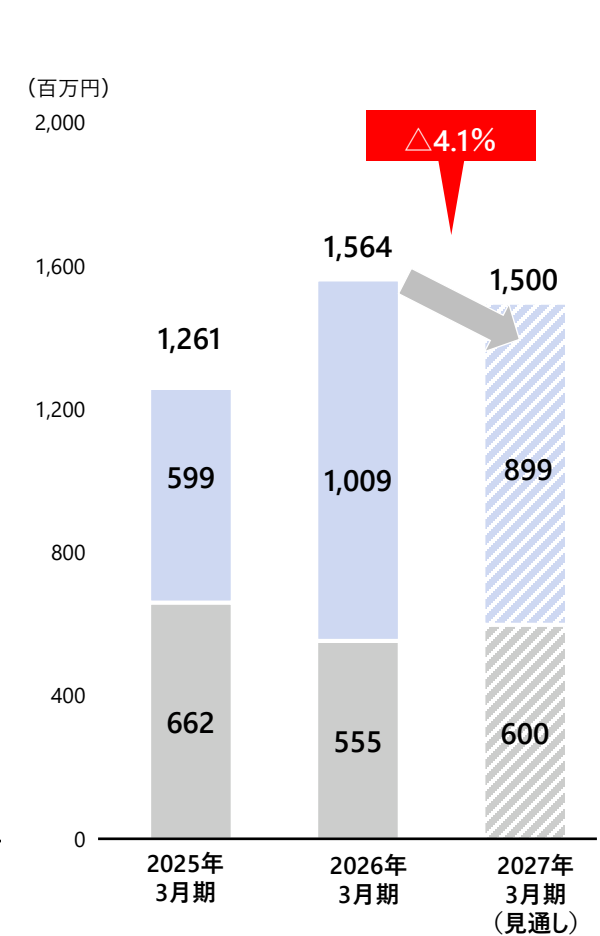
営業利益推移



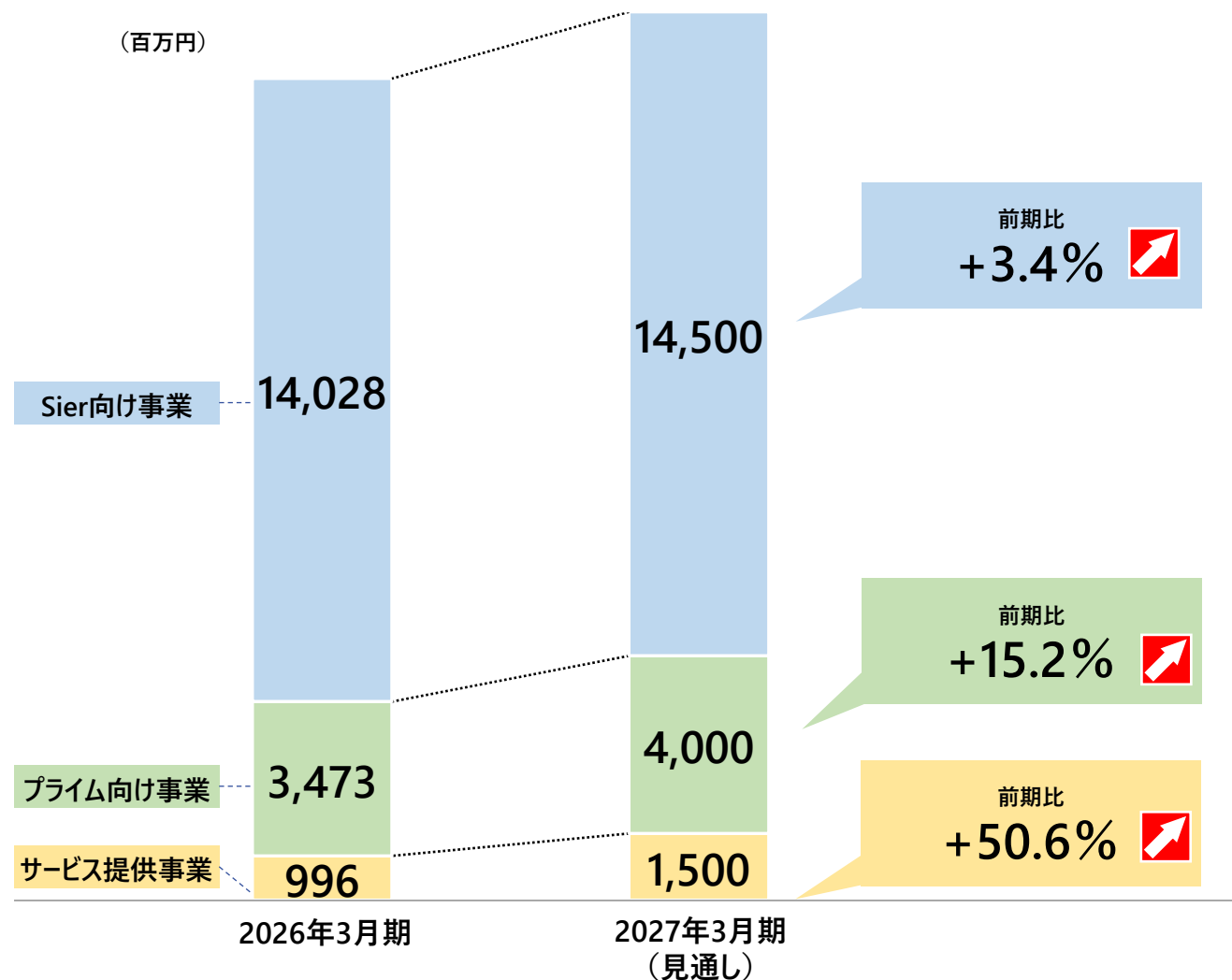
経常利益推移



親会社株主に帰属する当期純利益推移



2 - 2 | 事業スタイル別 売上高見通し



Sier向け事業

- ：大規模案件の受注と生産体制の確立
- ：上流から下流工程を一括で担うワンストップサービスの推進
- ：国内開発の回帰に伴う技術力の向上
- ：生産技術本部 AI推進室主導でAI技術を活用し、ビジネスプロセスの変革と生産性向上を推進

プライム向け事業

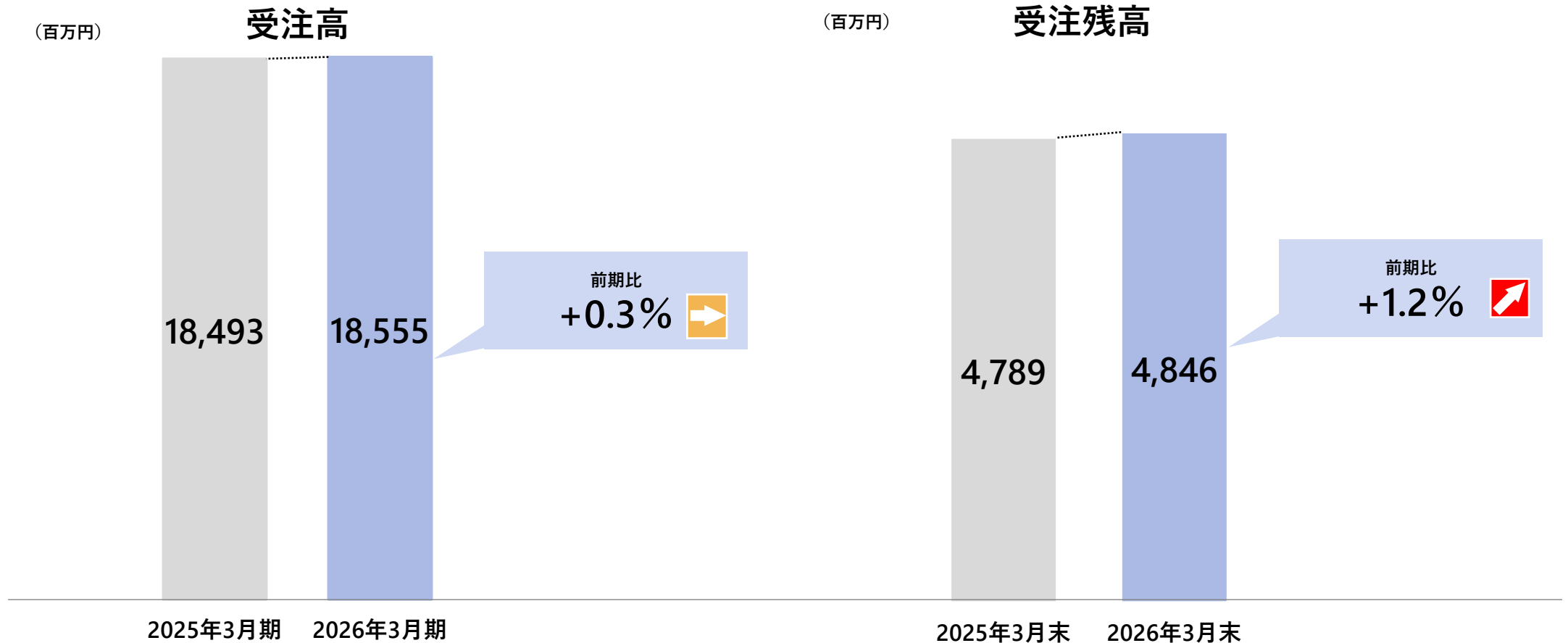
- ：システムコンサルティング室の新設によってコンサル領域における顧客獲得を加速
- ：営業活動強化による新規顧客の開拓
- ：既存顧客における支援領域拡大
- ：将来の主力となる顧客基盤の形成

サービス提供事業

- ：当社発ソリューションサービスの事業化
- ：クラウドベンダー・ソリューションベンダーとの協業によるマーケット拡大

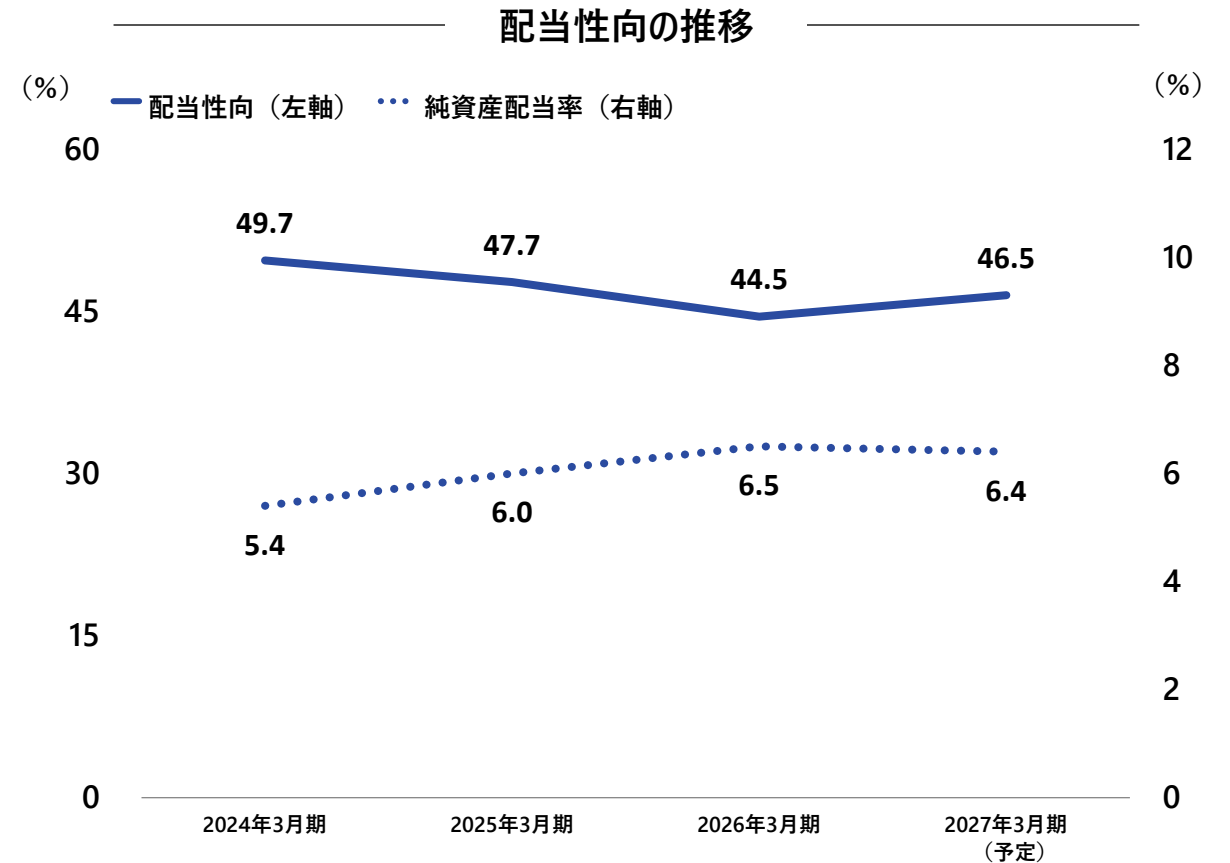
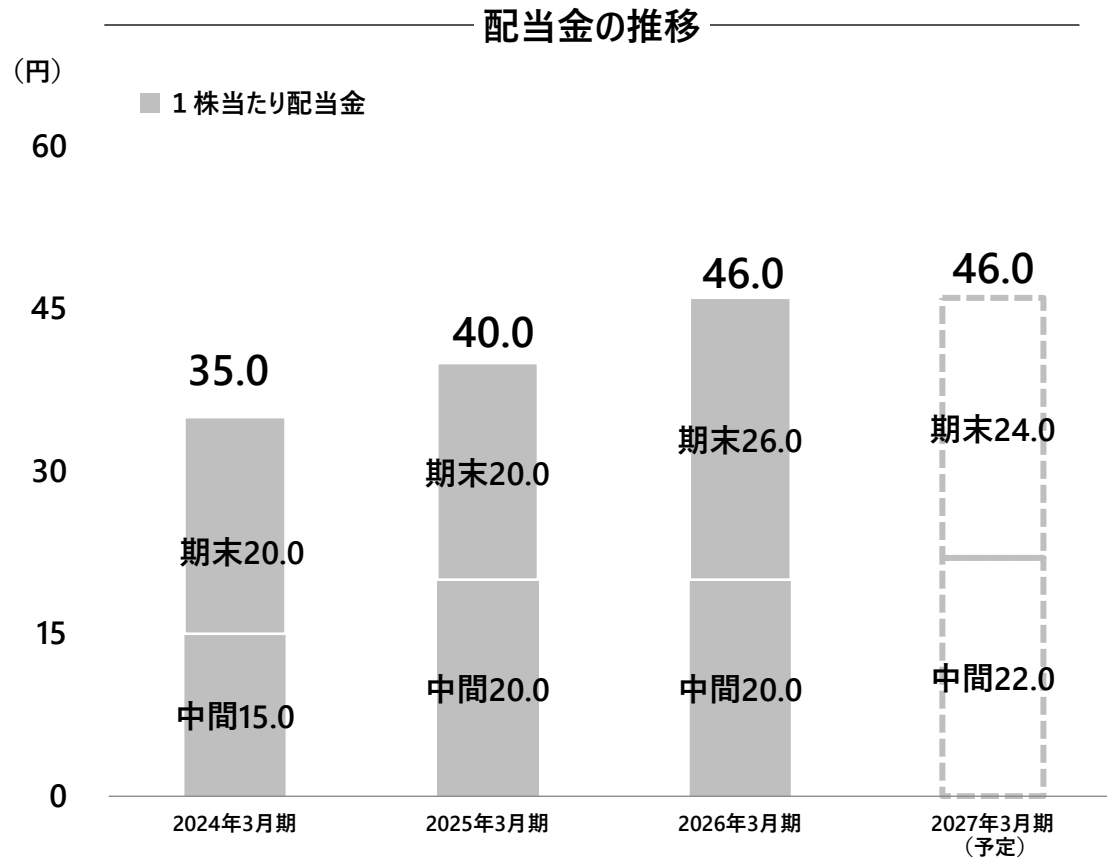
2 - 3 | 受注高・受注残高

■ 受注高61百万円、受注残高56百万円の増加



2 - 4 | 配当金および配当性向の推移

- 株主の皆様への更なる利益還元を目指し、連結配当性向50%を目安に2027年3月期の配当金の予定金額を年46円といたしました。



※2026年3月期の1株当たり配当金については、2026年5月7日公表「剰余金の配当の再決議（増配）に関するお知らせ」をご覧ください

3

巻末資料

- 1 5 年推移
- 2 会計期間推移
- 3 連結貸借対照表・キャッシュフロー計算書推移
- 4 売上高・営業利益推移
- 5 売上高・営業利益見通し
- 6 受注高・受注残高推移
- 7 その他経営指標
- 8 直近の主なニューストピックス
- 9 会社概要・沿革



3 - 1 | 5 年推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高 (百万円)	16,099	16,325	18,021	18,351	18,498
売上原価 (百万円)	12,649	12,775	14,099	14,403	14,201
売上総利益 (百万円)	3,450	3,570	3,922	3,947	4,296
売上総利益率 (%)	21.4	21.9	21.8	21.5	23.2
販売費及び 一般管理費 (百万円)	2,032	2,117	2,386	2,566	2,738
営業利益 (百万円)	1,417	1,452	1,536	1,380	1,558
営業利益率 (%)	8.8	8.9	8.5	7.5	8.4
経常利益 (百万円)	1,432	1,480	1,590	1,393	1,581
経常利益率 (%)	8.9	9.1	8.8	7.6	8.5
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	944	989	1,067	1,261	1,564
親会社株主に帰属する 当期純利益率 (%)	5.9	6.1	5.9	6.9	8.5

3 - 2 | 会計期間推移

	2023年 4-6月	2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月	2025年 4-6月	2025年 7-9月	2025年 10-12月	2026年 1-3月
売上高 (百万円)	4,376	4,638	4,550	4,455	4,411	4,610	4,630	4,699	4,546	4,596	4,616	4,739
売上原価 (百万円)	3,438	3,616	3,575	3,468	3,525	3,627	3,615	3,635	3,425	3,538	3,533	3,704
売上総利益 (百万円)	938	1,021	974	987	886	983	1,014	1,063	1,120	1,058	1,083	1,034
売上総利益率 (%)	21.4	22.0	21.4	22.2	20.1	21.3	21.9	22.6	24.6	23.0	23.5	21.8
販売費及び 一般管理費 (百万円)	568	597	606	613	665	670	657	572	717	730	677	613
営業利益 (百万円)	369	424	367	374	220	312	356	490	402	327	406	421
営業利益率 (%)	8.5	9.1	8.1	8.4	5.0	6.8	7.7	10.4	8.9	7.1	8.8	8.9
経常利益 (百万円)	371	416	380	421	226	301	365	499	412	326	421	422
経常利益率 (%)	8.5	9.0	8.4	9.5	5.1	6.5	7.9	10.6	9.1	7.1	9.1	8.9
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	232	268	257	308	157	504	242	356	200	354	522	487
親会社株主に帰属する 当期純利益率 (%)	5.3	5.8	5.7	6.9	3.6	10.9	5.2	7.6	4.4	7.7	11.3	10.3

3-3 | 連結貸借対照表・キャッシュフロー計算書推移

(単位：百万円)

連結貸借対照表	2025年3月期 (2025年3月末)	2026年3月期 (2026年3月末)	増減	摘要
流動資産	9,806	10,896	+1,089	現金及び預金の増加、売掛金の増加、契約資産の減少
固定資産	4,560	4,005	△554	投資有価証券の売却
資産合計	14,366	14,901	+535	
流動負債	2,387	2,736	+349	未払法人税等の増加、受注損失引当金の増加
固定負債	1,104	759	△344	繰延税金負債の減少
負債合計	3,491	3,496	+5	
株主資本合計	9,733	10,775	+1,042	利益剰余金の増加
その他包括利益累計額合計	1,141	629	△512	
非支配株主持分	-	-	-	
純資産合計	10,874	11,404	+530	

(単位：百万円)

連結キャッシュフロー計算書	2025年3月期	2026年3月期	増減	摘要
営業キャッシュフロー	255	767	+511	
投資キャッシュ・フロー	△68	371	+440	投資有価証券の売却による収入
財務キャッシュ・フロー	△780	△521	+258	配当金の支払による支出
現金および現金同等物に係る換算差額	△8	△4	+4	
現金および現金同等物の増減額	△601	612	+1,214	
現金および現金同等物の期首残高	6,815	6,213	△601	
現金および現金同等物の当期末残高	6,213	6,826	+612	

3 - 4 | 売上高・営業利益推移

	2025年3月期		2026年3月期	
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
デジタルビジネス	808	1,315	7.1	+62.7
SIビジネス	6,239	7,731	41.8	+23.9
エンハンスビジネス	11,303	9,451	51.1	△16.4
金融業	6,062	5,771	31.2	△4.8
流通業	3,025	3,014	16.3	△0.4
官公庁	1,937	2,432	13.1	+25.5
運輸・通信業	2,306	2,030	11.0	△11.9
製造業	1,808	1,990	10.8	+10.1
その他	3,211	3,257	17.6	+1.5
Sier向け事業	13,885	14,028	75.8	+1.0
プライム向け事業	3,662	3,473	18.8	△5.2
サービス提供事業	803	996	5.4	+24.0
合計	18,351	18,498	100.0	+0.8

	2025年3月期		2026年3月期	
	営業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	前期比 (%)
	15	117	+675.7	
	497	711	+42.9	
	867	729	△16.0	
	484	311	△35.7	
	172	368	+114.2	
	221	191	△13.5	
	284	315	+11.1	
	133	146	+10.2	
	85	224	+161.4	
	1,045	998	△4.5	
	283	565	+99.2	
	51	△5	-	
	1,380	1,558	+12.9	

	2025年3月期		2026年3月期	
	営業利益率 (%)	営業利益率 (%)	前期増減 (pt)	前期増減 (pt)
	1.9	9.0	+7.1	
	8.0	9.2	+1.2	
	7.7	7.7	0	
	8.0	5.4	△2.6	
	5.7	12.2	+6.5	
	11.4	7.9	△3.5	
	12.3	15.5	+3.2	
	7.4	7.4	0	
	2.7	6.9	+4.2	
	7.5	7.1	△0.4	
	7.8	16.3	+8.5	
	6.4	△0.6	-	
	7.5	8.4	+0.9	

3 - 5 | 売上高・営業利益見通し

	2026年3月期		2027年3月期			2026年3月期		2027年3月期			2026年3月期		2027年3月期	
	売上高 (百万円)	売上高 見通し (百万円)	営業利益 (百万円)	営業利益 見通し (百万円)		営業利益率 (%)	営業利益率 見通し (%)	営業利益率 (%)	営業利益率 見通し (%)					
デジタルビジネス	1,315	1,300	117	120		9.0	9.2							
SIビジネス	7,731	8,500	711	800		9.2	9.4							
エンハンスビジネス	9,451	10,200	729	880		7.7	8.6							
金融業	5,771	5,500	311	450		5.4	8.2							
流通業	3,014	2,800	368	370		12.2	13.2							
官公庁	2,432	2,200	191	180		7.9	8.2							
運輸・通信業	2,030	2,400	315	300		15.5	12.5							
製造業	1,990	2,300	146	200		7.4	8.7							
その他	3,257	4,800	224	300		6.9	6.3							
Sier向け事業	14,028	14,500	998	1,170		7.1	8.1							
プライム向け事業	3,473	4,000	565	600		16.3	15.0							
サービス提供事業	996	1,500	△5	30		△0.6	2.0							
合計	18,498	20,000	1,558	1,800		8.4	9.0							

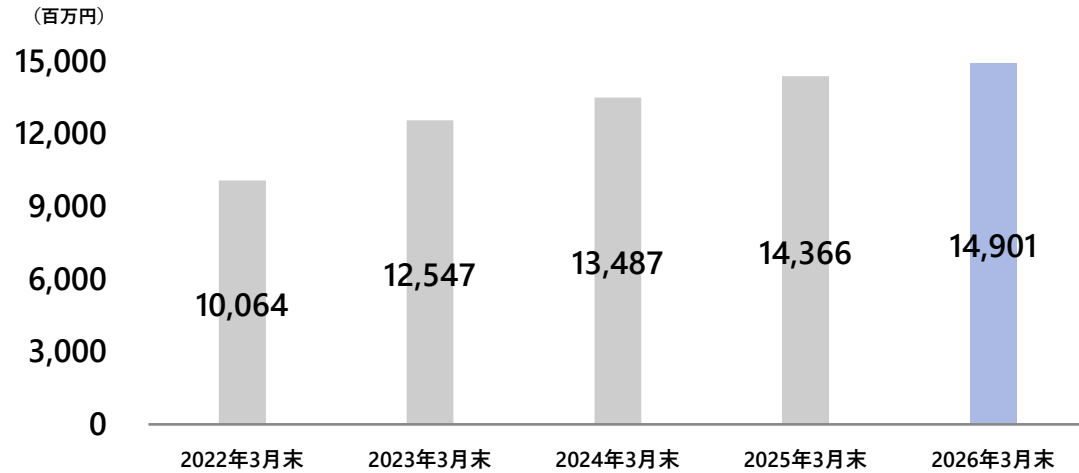
3 - 6 | 受注高・受注残高推移

	2025年3月期		2026年3月期	
	受注高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減額 (百万円)	前年同期比 (%)
デジタルビジネス	930	1,307	+376	+40.5
SIビジネス	6,522	7,874	+1,352	+20.7
エンハンスビジネス	11,040	9,372	△1,667	△15.1
金融業	6,023	5,710	△313	△5.2
流通業	2,987	2,946	△40	△1.4
官公庁	2,011	2,467	+456	+22.7
運輸・通信業	2,230	2,040	△190	△8.5
製造業	1,865	2,035	+170	+9.1
その他	3,374	3,354	△20	△0.6
Sier向け事業	13,578	14,048	+431	+3.2
プライム向け事業	3,931	3,480	△264	△7.1
サービス提供事業	983	1,026	△104	△9.3
合計	18,493	18,555	+61	+0.3

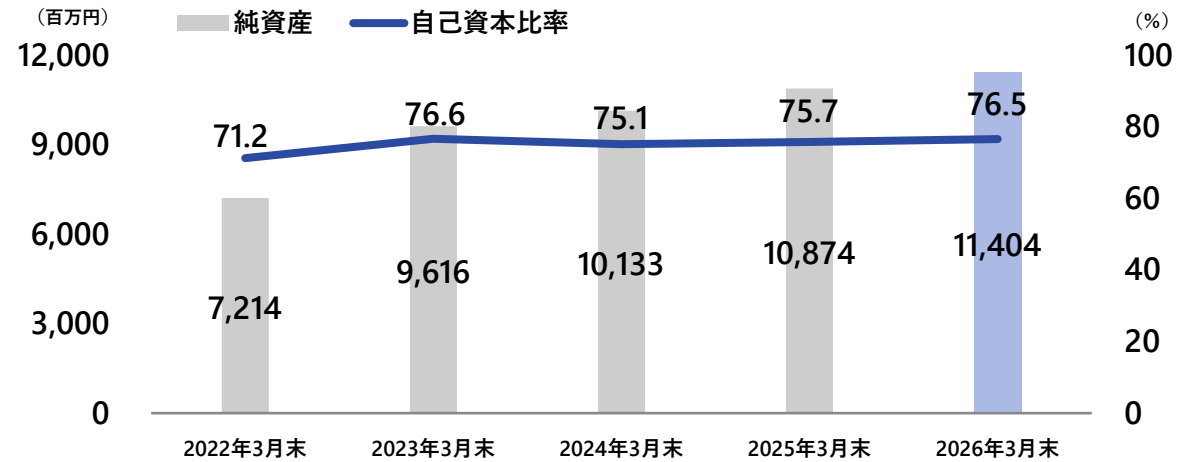
	2025年3月末		2026年3月末	
	受注残高 (百万円)	受注残高 (百万円)	増減額 (百万円)	前年同期比 (%)
	347	339	△7	△2.1
	1,622	1,765	+143	+8.8
	2,819	2,740	△79	△2.8
金融業	1,511	1,450	△61	△4.1
流通業	770	701	△68	△8.9
官公庁	557	593	+35	+6.4
運輸・通信業	508	518	+9	+1.9
製造業	462	507	+44	+9.7
その他	978	1,075	+96	+9.8
Sier向け事業	3,013	3,033	+20	+0.7
プライム向け事業	1,361	1,368	+6	+0.5
サービス提供事業	414	444	+29	+7.1
合計	4,789	4,846	+56	+1.2

3 - 7 | その他経営指標

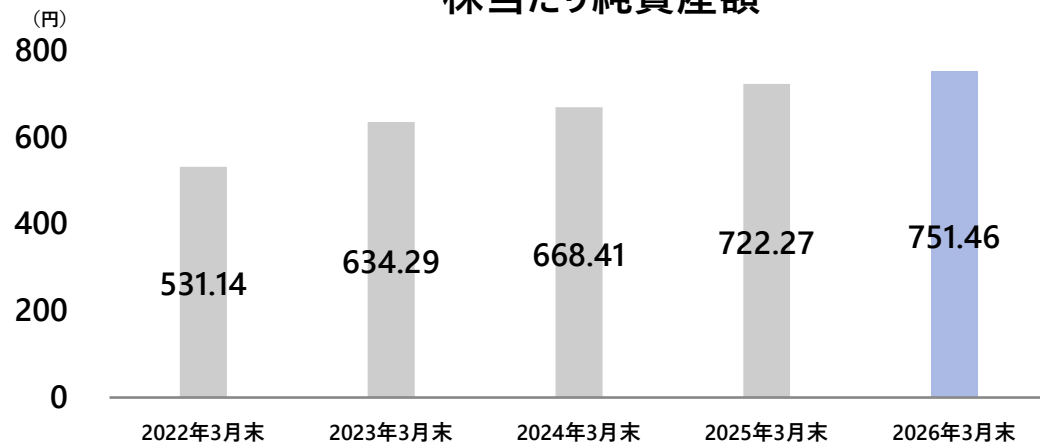
総資産



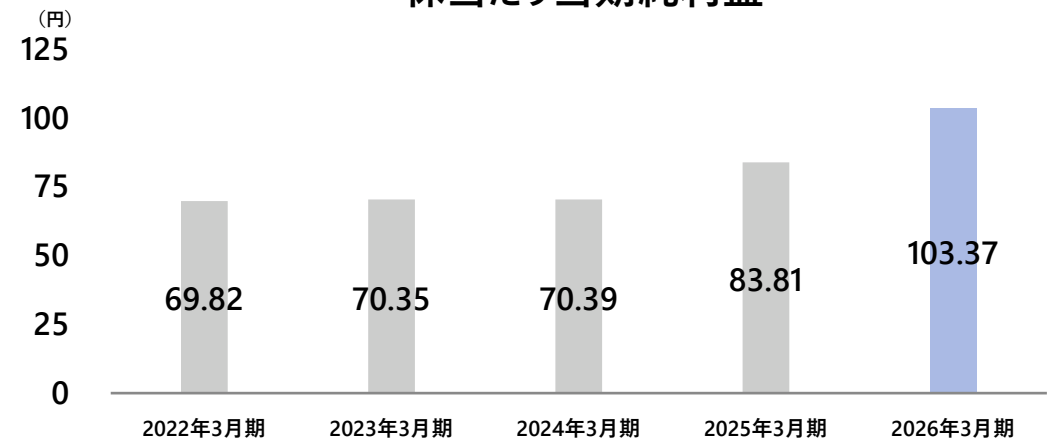
純資産／自己資本比率



一株当たり純資産額

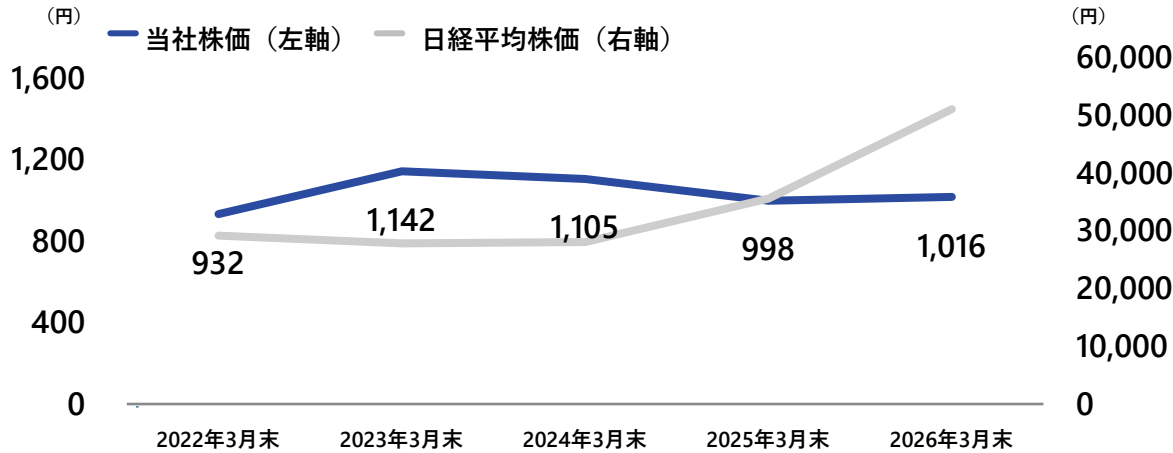


一株当たり当期純利益

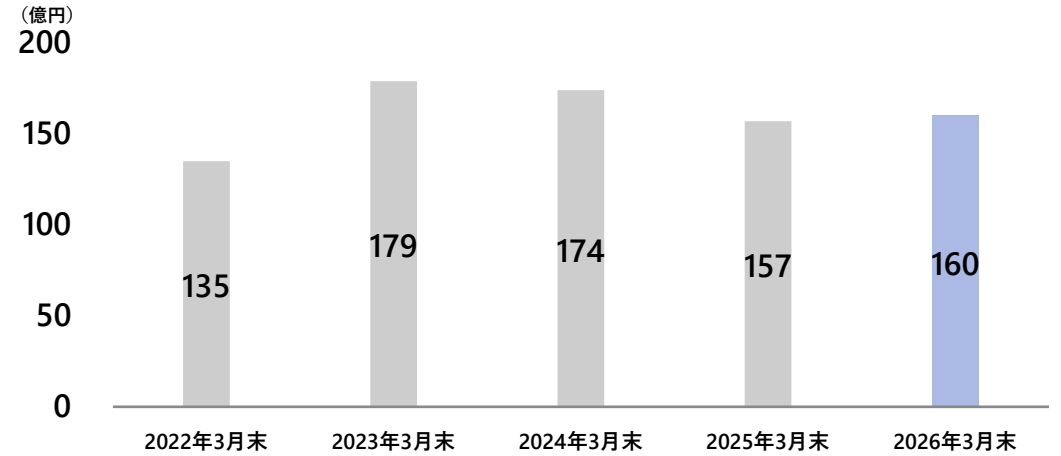


3 - 7 | その他経営指標

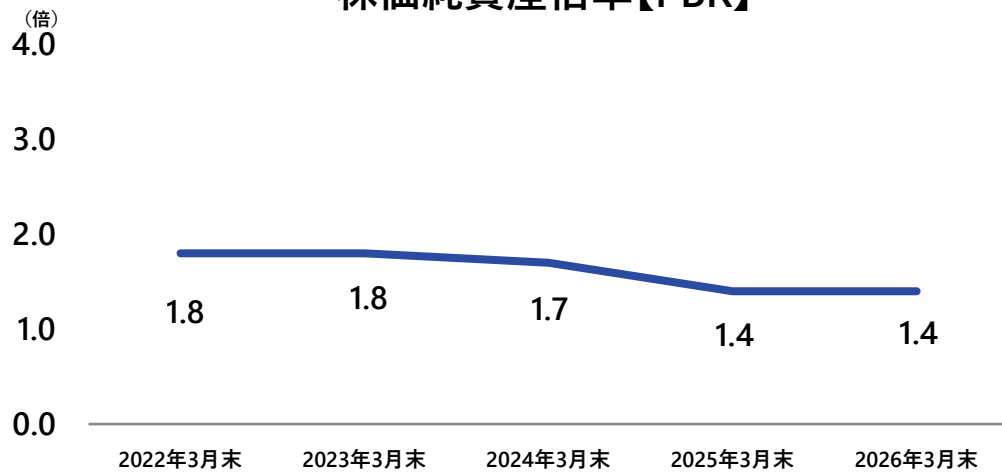
株価



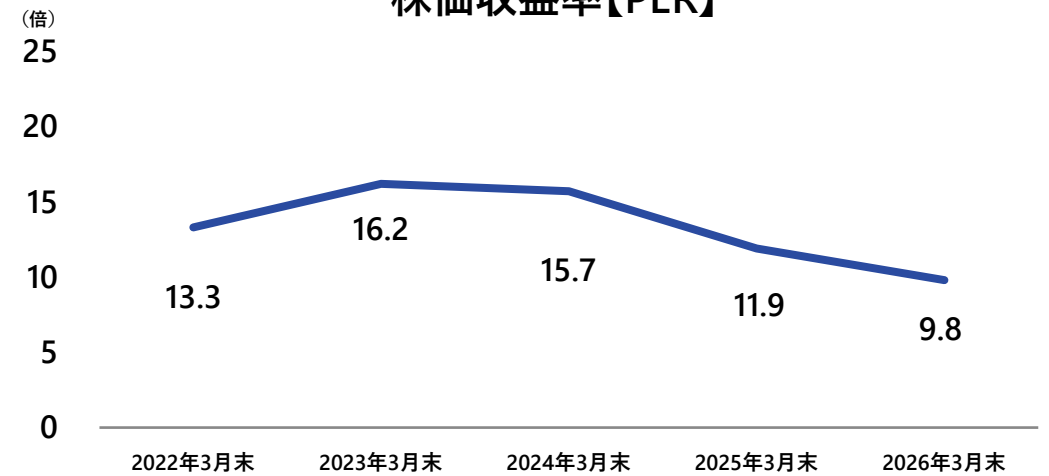
時価総額



株価純資産倍率【PBR】



株価収益率【PER】



3 - 8 | 直近の主なニューストピックス

2025年10月15日	「統合報告書2025」を公開しました
2025年11月5日	剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ
2025年11月6日	「株主レター」を公開しました
2025年12月4日	第2四半期決算説明会 書き起こし記事・動画公開のお知らせ
2025年12月22日	「Fujitsu Core Partner Forum 2025」にてAchievement Award を受賞しました
2026年1月14日	アイ・オー・データ機器様の仮想基盤システムをクラウドへ移行
2026年1月20日	CDP気候変動に関する調査にて「B」スコア評価を獲得
2026年2月4日	当社役員の異動に関するお知らせ
2026年2月4日	執行役員人事および重要な組織改編に関するお知らせ
2026年2月26日	CUBE SYSTEM VIETNAM「2025年 持続的発展FDI企業 TOP10」を受賞
2026年3月13日	5年連続「健康経営優良法人」に認定されました
2026年3月18日	生成AIアバターと音声解析で社員のメンタル状態を可視化 社内実証実験を通じて有効性を確認

3 - 9 | 会社概要・沿革

会社概要

商号	株式会社キューブシステム
設立	1972年7月5日
本社	東京都品川区
資本金	14億円
代表者	代表取締役 中西雅洋
証券市場	東京証券取引所 プライム市場
売上高	184億円（2026年3月期 連結）
社員数	988名（2026年4月1日 連結）
会社HP	https://www.cubesystem.co.jp/

沿革

1972年 7月	カスタムエンジニアーズ株式会社を設立
1985年 4月	大阪営業所※開設 ※現 西日本ソリューション事業本部
1990年10月	商号を「株式会社キューブシステム」に変更
2002年10月	ジャスダック（店頭）上場
2014年 3月	東京証券取引所市場第一部に指定
2019年 5月	名古屋オフィス開設
2022年 4月	東京証券取引所プライム市場に移行
2022年12月	(株)野村総合研究所と資本業務提携契約を締結
2023年 9月	福岡オフィス開設
2025年 9月	品川イノベーションハブ開所

CUBE SYSTEM

株式会社 キューブシステム

<https://www.cubesystem.co.jp/>

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。